新保大橋（PC押出し工法）上部工工事

Construction of SHINBO Bridge (PC Extrusion Method)

川田建設㈱・富山工事

新保大橋は，富山県の広域営農団地農道整備事業（富山，中部地区）の一環として当社が建設を進めているものである。本橋は，富山市街から約7キロメートル神通川をさかのぼった地点で富山市新保と婦中町青島を結ぶところに位置している。神通川の架橋地点は流量：Q＝7,000m³/S 水面勾配：I＝1／180であり，みお筋も不安定である。河川管理上支間割は8@50mとなり，将来の維持管理施工条件等を考慮して，押出し工法によるPC橋が採用された。

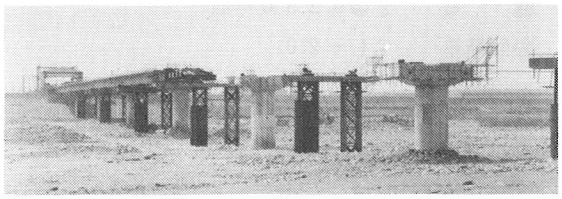
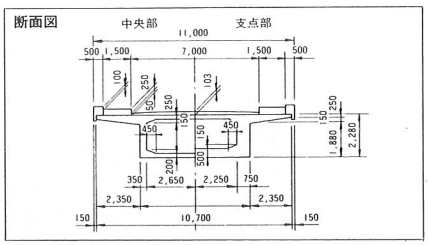
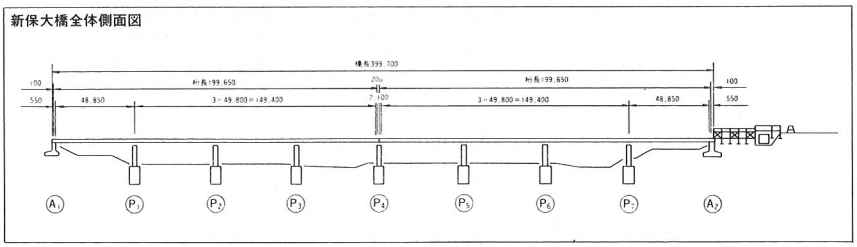
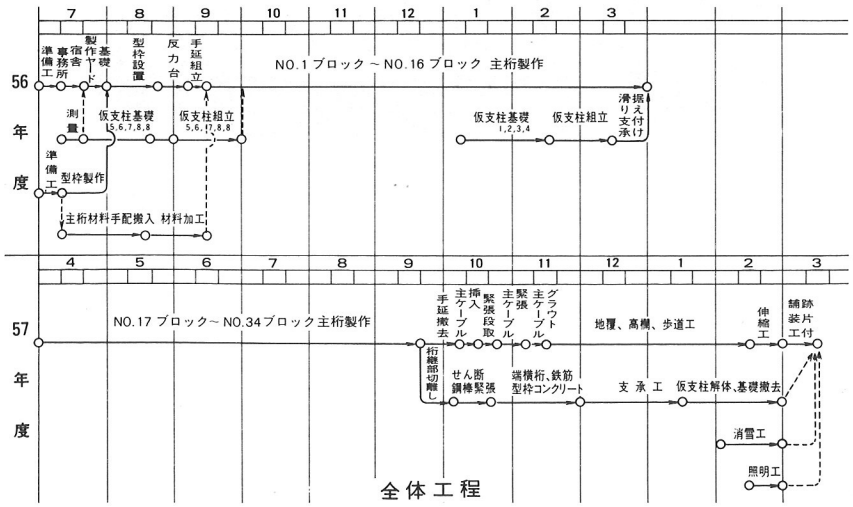
従来の多径間連続桁形式の支承条件には一点または多点固定方式が主流であるとされてきたが，本橋では河川管理，設計，経済性および美観上の問題を考慮し，ゴム沓（リング沓）のセン断ばねを利用した水平反力分散方式を採用している。

現在，桁の押出しが終了し，来春の完成を目指して工事が着々と進められている。

以下に工事概要，一般図，施工工程を示す。

工事概要

（工事名称）　広域営農団地農道整備事業
（発注者名）　富山県富山農地林務事務所
（工事場所）　富山県婦負郡婦中町青島～富山新保地内
（工　　期）　自　昭和56年7月1日
　　至　昭和58年3月15日
（工事内容）
施工法　バウルレオンハルト押出し工法
構造形式　ポストテンション4径間連続箱桁
橋　種　プレストレストコンクリート道路橋
橋　長　399.700m
桁　長　199.650×2連
スパン　（48.850＋3@49.8）×2連
桁　高　2.280m
幅　員　㊧1.500＋㊨7.000＋㊧1.500m
設計荷重　TL－20
PC工法　主ケーブル　VSL工法　E5－29



新保大橋